



2026年3月期 第3四半期

決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2026年2月10日

1. 2026年3月期 第3四半期連結決算	3
2. セグメント概況	7
3. 2026年3月期 業績予想	14
4. トピックス	15
5. Appendix	18

— 2026年3月期 第3四半期決算ハイライト

売上高

1,204億円

前年同期比
+18.4%

営業利益

129億円

前年同期比
+13.5%

親会社株主に帰属する 四半期純利益

96億円

前年同期比
+3.9%

売上高

- スポーツ市場が堅調に推移する中、契約選手の活躍を活かした情報発信に加え、ポップアップストアやイベントなどお客様との接点を重視した取り組みに注力
- バドミントンでは、主力市場であるアジアを中心に需要が引き続き堅調に推移。テニスでは、国際大会での選手活躍を背景にブランド認知が高まり、販売が伸長
- 海外では円高に伴う業績換算の下押し影響があったものの、連結で3Q累計として過去最高売上高を計上

営業利益

- マーケティング活動の強化に伴う広告宣伝費や人件費を中心に販管費が増加
- 増収による粗利増加が販管費の増加を上回り、連結で3Q累計として過去最高営業利益を計上

一 連結業績

(百万円)

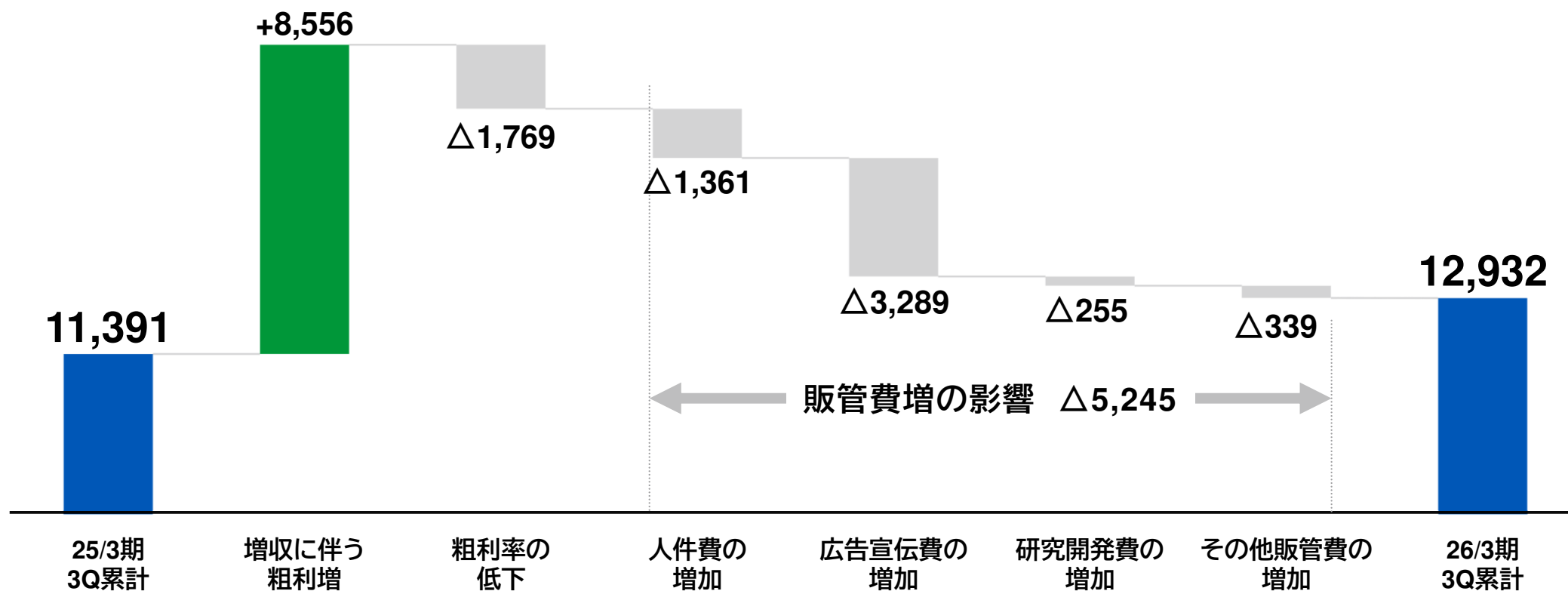
	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計		増減率 (増減額)	2026年3月期 通期予想※
		実績	売上比		
売上高	101,758	120,474	—	+18.4% (+18,715)	162,000
売上総利益	46,522	53,308	44.2%	+14.6% (+6,786)	—
販管費	35,131	40,376	33.5%	+14.9% (+5,245)	—
営業利益	11,391	12,932	10.7%	+13.5% (+1,540)	16,200
経常利益	11,446	12,702	10.5%	+11.0% (+1,256)	15,600
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,249	9,610	8.0%	+3.9% (+361)	11,600
1株当たり四半期純利益	107.14円	112.41円	—	+5.27円	135.76円

※ 2025年11月7日修正値

一 連結営業利益 増減分析

粗利率は低下も増収により粗利が増加。販管費は、ブランド認知拡大を目的としたマーケティング活動や国際大会での選手活躍を活かした情報発信による広告宣伝費や人件費が増加

(百万円)



一 連結貸借対照表

有形固定資産および有利子負債は、事業拠点整備のための不動産取得およびテニスラケット新工場関連の設備投資と、それらに伴う借入により増加

● 資産

	2025年3月末	2025年12月末	増減額
現預金	29,478	35,367	+5,889
受取手形・売掛金	20,003	21,021	+1,018
棚卸資産	20,005	21,266	+1,261
有形固定資産	30,607	35,980	+5,373
無形固定資産	1,725	1,486	△238
その他	7,731	8,547	+816
資産合計	109,551	123,671	+14,120

● 負債・純資産

(百万円)

	2025年3月末	2025年12月末	増減額
買掛金	10,402	10,241	△160
有利子負債	10,213	17,840	+7,626
その他	19,508	18,901	△607
負債合計	40,124	46,983	+6,858
自己資本	69,201	76,456	+7,255
非支配株主持分	224	231	+6
純資産合計	69,426	76,688	+7,261
負債純資産合計	109,551	123,671	+14,120

ー セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

(百万円)

セグメント		2026年3月期3Q累計 実績		連結売上高 構成比	業績計上対象	
		売上高	営業利益		販売	製造
スポーツ用品 事業	日本	46,153	2,710	38.3%	・ヨネックスジャパン(日本国内向け) ・海外代理店向け※	・新潟工場 ・東京工場 ・ヨネックス精機
	アジア	63,478	9,066	52.7%	・ヨネックス中国 ・ヨネックス台湾	・ヨネックス台湾 ・ヨネックスインド ・ヨネックステクニファイバー (タイ)
	北米	5,804	419	4.8%	・ヨネックス北米 (アメリカ・カナダ)	
	ヨーロッパ	4,544	421	3.8%	・ヨネックスドイツ ・ヨネックスイギリス	
スポーツ施設事業		493	39	0.4%	・カントリークラブ、ゴルフ練習場、 テニスクラブの運営	

※ 代理店を経由して販売している地域:東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

ー セグメント別売上高への為替影響

一部通貨で円高となり為替換算時のマイナス影響となったものの売上高の伸びが大きく増収

● 為替レート

	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
25/3期 3Q累計（1-9月）	20.97円	4.71円	151.28円	164.39円	193.13円
26/3期 3Q累計（1-9月）	20.50円	4.74円	148.22円	165.53円	194.67円
前年同期比	△2.2%	+0.6%	△2.0%	+0.7%	+0.8%

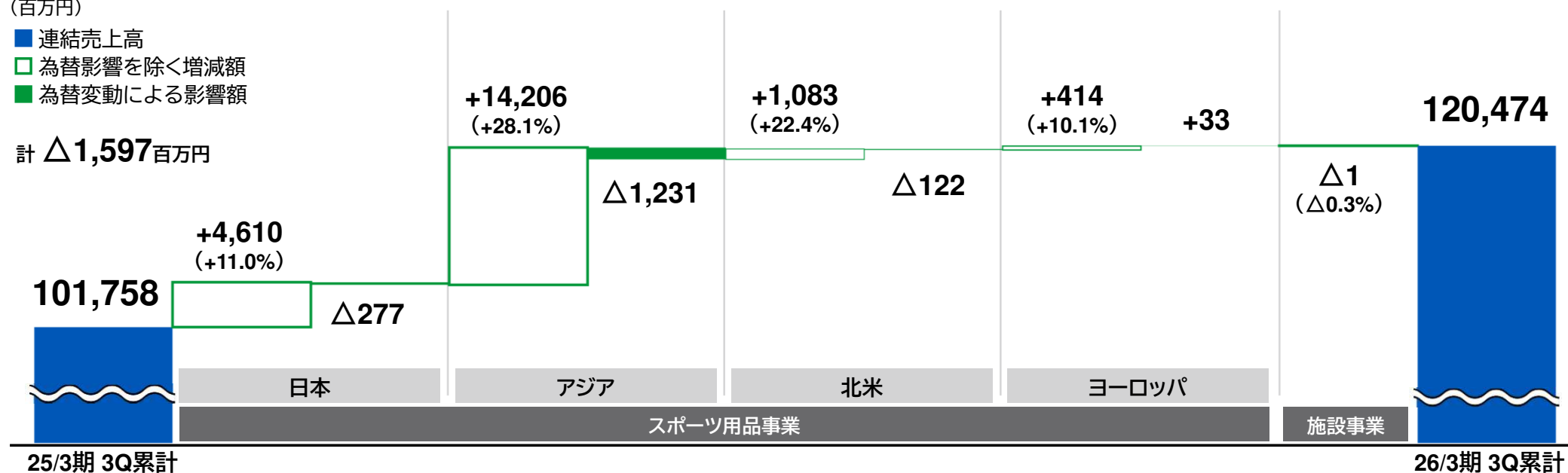
（百万円）

■ 連結売上高

□ 為替影響を除く増減額

■ 為替変動による影響額

計 △1,597百万円



— スポーツ用品事業 日本

売上高

46,153百万円

前年同期比
+10.4%

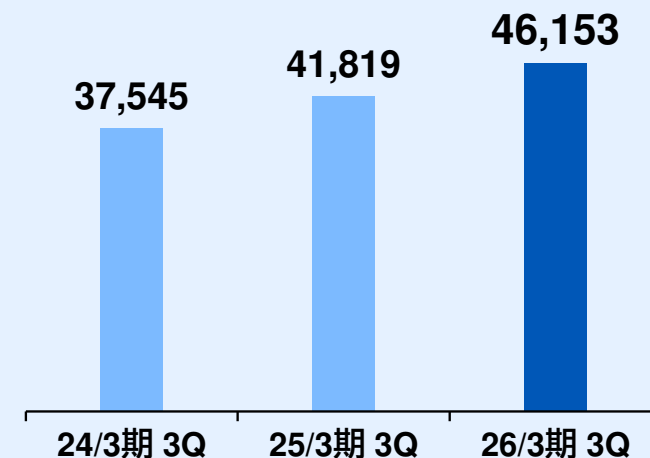
国内

バドミントンは需要が引き続き堅調で、ラケットでは幅広い価格帯で販売が増加したほか、ストリングや、バッグ、ウェア等その他用品の販売も堅調に推移し増収。テニスは、シューズやストリングを含む各種用品で販売が堅調に推移し増収

海外代理店

バドミントンはアジアでの需要が引き続き堅調に推移したほか、欧州でも競技活動の活発化を背景に販売が堅調に推移し増収。テニスでは契約選手の活躍を活かしたマーケティング活動が奏功し増収

(百万円)



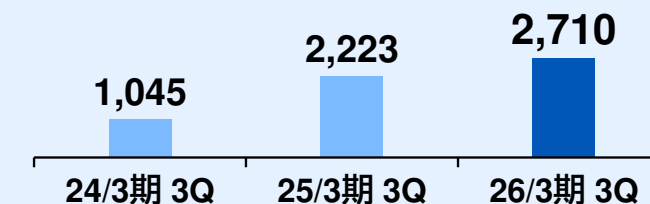
営業利益

2,710百万円

前年同期比
+21.9%

増収効果により売上総利益は増加。販管費は人件費やグローバルでの広告宣伝費等により増加したものの、売上総利益の増加が販管費の増加を上回り増益

(百万円)



— スポーツ用品事業 アジア

売上高

63,478百万円

前年同期比
+25.7%

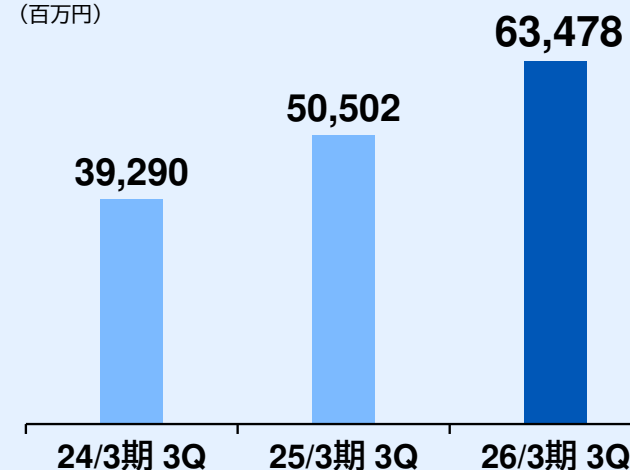
中国

バドミントン市場が引き続き堅調。草の根販促活動や「Head to Toe」提案強化に注力。バドミントン用品では幅広い製品の販売が増加したほか、ウェアやバッグを含むその他用品の販売も伸長。テニスでは国際大会公式球への採用を活かしたマーケティング施策を展開し、販売が伸長

台湾

国際大会における契約選手の活躍を背景に競技の盛り上がりが続く中、バドミントン用品の販売が堅調で増収

(百万円)



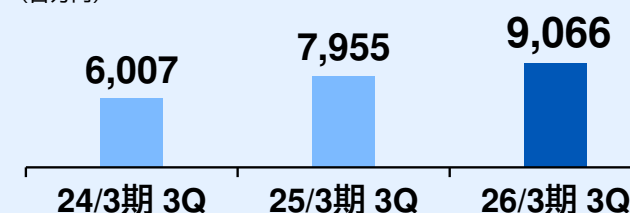
営業利益

9,066百万円

前年同期比
+14.0%

増収により売上総利益は増加。中国子会社を中心にマーケティング活動強化に伴う広告宣伝費が増加したものの、売上総利益の増加がこれを上回り増益

(百万円)



● 為替レート

	2024年1-9月	2025年1-9月	前年同期比		2024年1-9月	2025年1-9月	前年同期比
1RMB	20.97	20.50円	0.47円 円高	1TWD	4.71円	4.74円	0.03円 円安

— スポーツ用品事業 北米

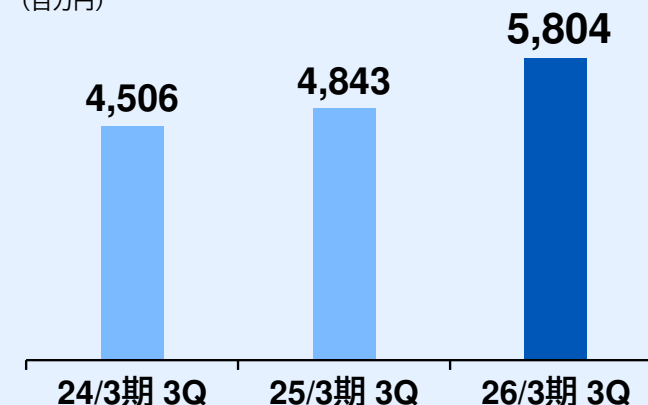
売上高

5,804百万円

前年同期比
+19.8%

テニス用品はラケットやストリングを中心に販売が堅調に推移。バドミントン用品も競技活動の継続を背景にラケットやストリング等の販売が増加。加えて、ウェアを中心としたその他用品の販売が大きく伸長。DTCの取り組みとして、ECサイトおよびポップアップストア展開を通じ、お客様との直接的な接点強化に注力

(百万円)



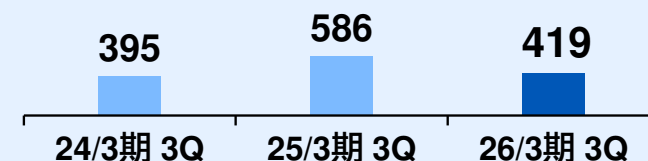
営業利益

419百万円

前年同期比
△28.6%

増収効果により売上総利益は増加したものの、人件費やマーケティング費用、DTC関連費用の増加により減益

(百万円)



● 為替レート

	2024年1-9月	2025年1-9月	前年同期比
1USD	151.28円	148.22円	3.06円 円高

スポーツ用品事業 ヨーロッパ

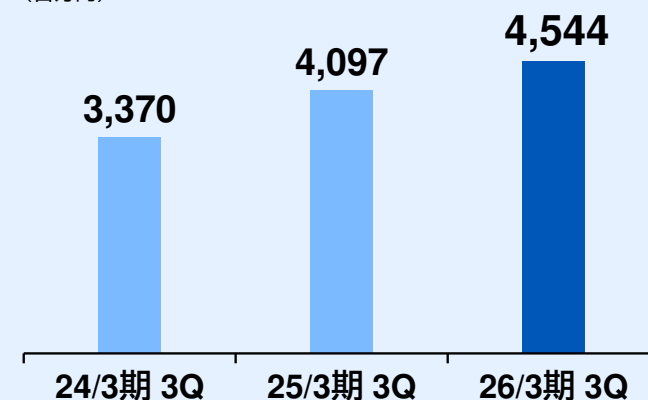
売上高

4,544百万円

前年同期比
+10.9%

契約選手の活躍を背景にブランド認知が向上し、ラケットを中心にテニス用品の販売が増加。バドミントン用品においても、国際大会開催等による競技の盛り上がり背景に需要が堅調に推移し、ラケットやストリングを中心に販売が伸長

(百万円)



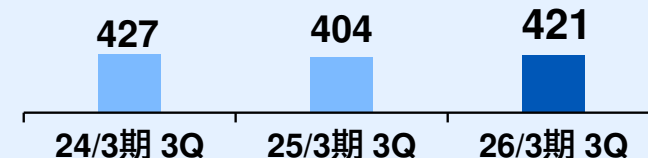
営業利益

421百万円

前年同期比
+4.3%

増収による売上総利益の増加が、人件費やマーケティング活動に伴う広告宣伝費等の販管費の増加を上回り、増益

(百万円)



為替レート

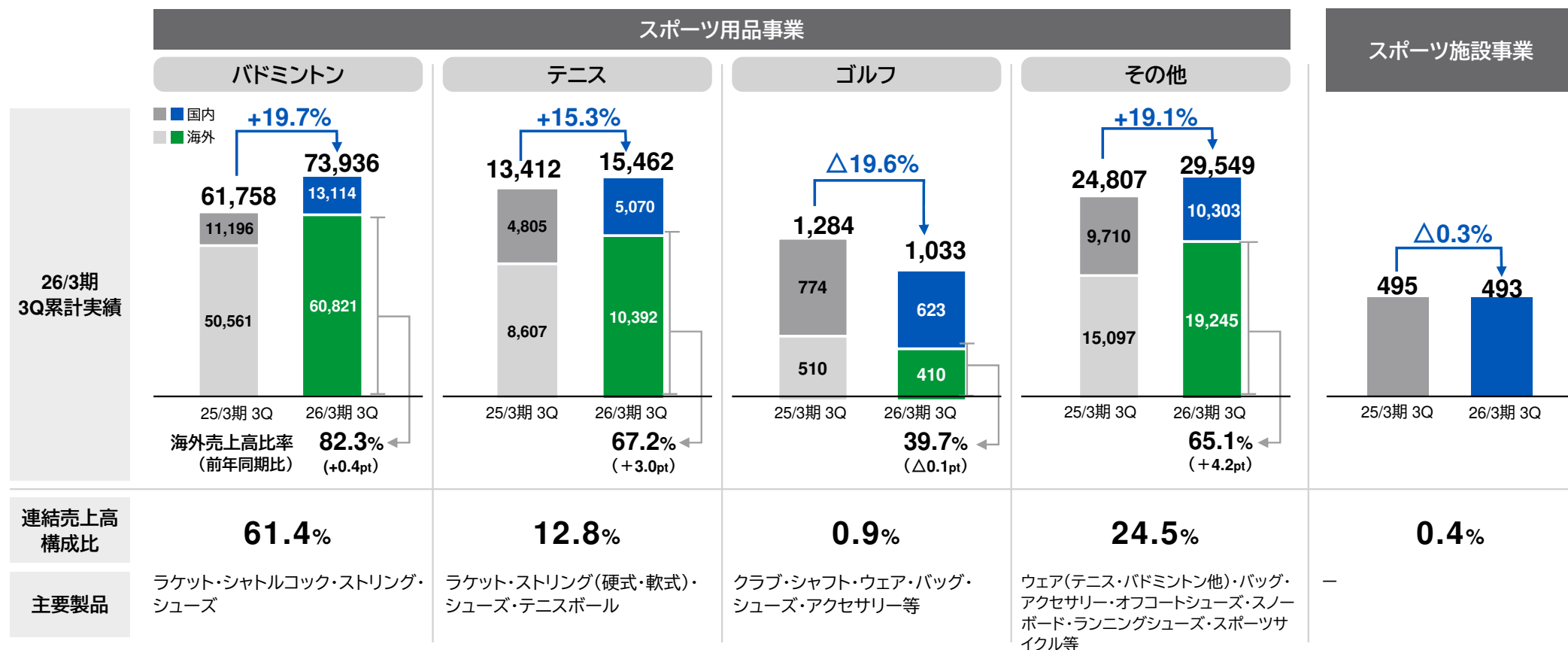
2024年1-9月 2025年1-9月 前年同期比
1EUR **164.39円** → **165.53円** **1.14円** 円安

2024年1-9月 2025年1-9月 前年同期比
1GBP **193.13円** → **194.67円** **1.54円** 円安

— 種目別売上高

バドミントンは引き続き市場が活性化し、国内・海外ともに増収。テニスも、契約選手の活躍による認知拡大等で国内・海外ともに増収。その他は中国を中心にウェア、アクセサリーの販売が増加

(百万円)



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

— 2026年3月期 業績予想

11月に修正した業績予想を据え置き。スポーツ市場の堅調な推移を見込む中、さらなるファン拡大に向けた投資を強化

● 予想の前提

- ・今後もスポーツ市場の堅調な推移を見込む
- ・グローバル成長戦略(GGS)で掲げる成長に向けた戦略的投資を強化

● 為替レート(期中平均) (円)

	25/3期 実績	26/3期 予想※
1RMB	21.01	21.0
1TWD	4.71	4.8
1USD	151.57	150
1EUR	163.94	170
1GBP	193.68	195

※11/7修正

(百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想 (11/7修正)	前年比増減率 (増減額)
売上高	138,276	162,000	+17.2% (+23,723)
営業利益	14,176	16,200	+14.3% (+2,023)
営業利益率	10.3%	10.0%	△0.3pt
経常利益	13,964	15,600	+11.7% (+1,635)
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,591	11,600	+9.5% (+1,008)

トピックス: バドミントン／テニス 2025年の最終戦におけるチームヨネックス選手の活躍

バドミントン、テニスの年間ランキング上位8名(組)のみが出場する、それぞれの最終戦にて当社契約選手が大活躍

バドミントン

BWFワールドツアーファイナルズ

- 5種目中4種目の優勝はチームヨネックス(当社契約選手)
- 男子シングルス クリスト・ポポフ選手はフランス選手として初のファイナルズ優勝
- 出場選手の当社ラケット使用率 72% (64名中46名)
全5種目の決勝進出選手16名中、14名が使用



▲クリスト・ポポフ選手(フランス)

テニス

WTAファイナルズ

- シングルス エレーナ・ルバキナ選手、3年連続3度目の出場で初優勝
- ダブルス エリーズ・メルテンス選手、3年ぶりの優勝
- 出場者シングルス8名中3名、ダブルス16名中9名が当社ラケット使用
決勝進出6名のうち3名が当社ラケット使用



▲エレーナ・ルバキナ選手(カザフスタン)



▲エリーズ・メルテンス選手
(ベルギー)

ATPファイナルズ

- ダブルス ハリ・ヘリオバーラ選手優勝

ー テニス:ラケット「VCORE(Vコア)」 新モデル発売

■ スピン性能が特徴の「VCORE」シリーズの最新モデル(8代目)が2026年1月に発売

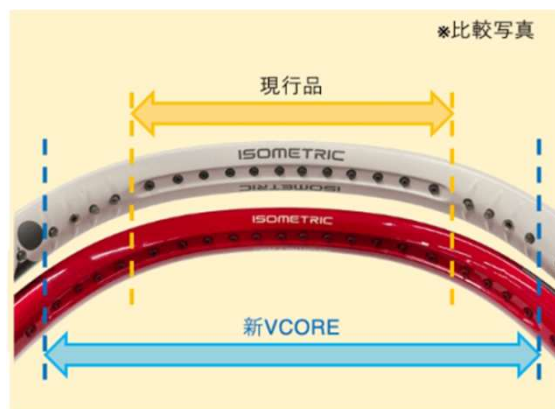


製品情報 ▶ <https://www.yonex.co.jp/news/2025/3510.html>

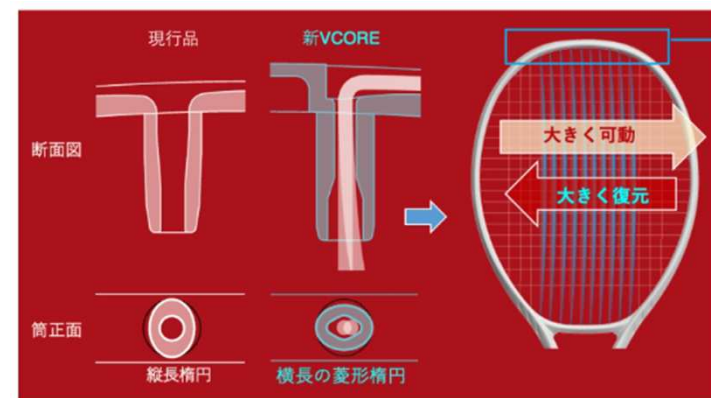
VCOREにも「αシリーズ」を追加

- 競技志向のジュニア層・テニス愛好者層向けスペック
 - 最新のテクノロジー × 手に取りやすい価格帯
- 全豪オープンに合わせて開設したポップアップストアでのローンチパーティ開催
 - メルボルン市内でデモイベント実施

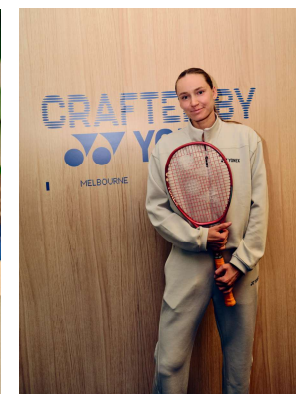
すべての人がスピンを体感できる「SPIN ACCESS GRANTED」



スウィートエリアの拡大で
より安定したスピンを実現



新構造グロメットでスナップバックが増加



© 2026 YONEX Co., Ltd.

ー テニス:全豪オープン2026 チームヨネックスの活躍

エレーナ・ルバキナ選手が自身初の全豪オープン優勝。チームヨネックスは19種目中、8種目を制す

女子シングルス 優勝

エレーナ・ルバキナ選手
(カザフスタン)

逆転勝利で全豪オープン初優勝、2022年ウィンブルドン以来となる2度目のグランドスラム制覇。Head to Toeでヨネックスを着用。



女子ダブルス 優勝

エリーズ・メルテンス選手 (ベルギー)



車いす女子シングルス・ダブルス 優勝

李晓輝選手 (中国)



車いす男子シングルス・ダブルス 優勝

小田凱人選手
(日本)

キャリア・ゴールデンズラムを達成した昨年の全米オープンに続き、グランドスラムを制覇。ダブルスもTeam Yonexのフェルナンデス選手(アルゼンチン)とのペアで優勝し、2冠を達成。



チームヨネックス 8種目で優勝

女子シングルス	Elena Rybakina (KAZ)	車いす女子シングルス	Xiaohui Li (CHN)
女子ダブルス	Elise Mertens (BEL)	車いす女子ダブルス	Xiaohui Li (CHN)
車いす男子シングルス	Tokito Oda (JPN)	男子ジュニアダブルス	Connor Doig (RSA)
車いす男子ダブルス	Tokito Oda (JPN) Gustavo Fernandez (ARG)	車いす男子ジュニアダブルス	Lucas John De Gouveia (GBR)



Appendix

— 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

● 2026年3月期3Q累計 連結決算の対象期間(会社別)

	2025年 →												2026年 →		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内＋海外代理店向け)				第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)		
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)					

ー セグメント別売上高推移

	(百万円)				
	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計
日本 (国内+海外代理店向け)	27,307	35,640	37,545	41,819	46,153
アジア (子会社)	22,177	36,940	39,290	50,502	63,478
北米 (子会社)	2,444	3,874	4,506	4,843	5,804
ヨーロッパ (子会社)	1,638	2,710	3,370	4,097	4,544
施設事業	407	466	459	495	493
連結売上高	53,975	79,632	85,172	101,758	120,474

日本セグメント

日本国内向け及び海外代理店向け販売
(東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア 等)

アジアセグメント

中国・台湾・インド・タイ子会社

北米セグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

ヨーロッパセグメント

イギリス・ドイツ子会社

一 地域別(仕向地別)売上高推移

	(百万円)				
	2022年3月期 3Q累計	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計
日本	20,447	24,045	24,554	26,982	29,605
海外売上高	33,528	55,587	60,617	74,776	90,869
アジア地域	27,529	43,839	48,054	60,125	73,705
北米地域	2,444	3,874	4,506	4,843	5,832
ヨーロッパ地域	2,455	6,366	6,734	8,288	9,179
その他	1,099	1,506	1,323	1,518	2,151
合計	53,975	79,632	85,172	101,758	120,474
海外売上高比率	62.1%	69.8%	71.1%	73.4%	75.4%

日本	スポーツ施設事業を含む日本事業	ヨーロッパ地域	ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他
アジア地域	中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他	その他	オーストラリア・中近東・中南米 他
北米地域	アメリカ・カナダ		



— 本資料に関する注意事項

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。